



ごあいさつ

岡山県立誕生寺支援学校長 山岡 格史

岡山県立誕生寺支援学校のホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

本校は、昭和46年4月に岡山県立としては初の知的障害の有る児童生徒を対象とした養護学校として開校しました。その2年後に高等部が設置され、平成15年には肢体不自由部門が併置され、平成24年には知的障害部門高等部に職業コースが設置されました。

平成25年度には、児童生徒の増加に伴い、近隣の閉校になった県立高等学校の校舎を活用し、知的障害部門の高等部が単独で教育活動を展開することになり、二つの校地(誕生寺校地・弓削校地)を有する学校となり今に至っています。また、通学区域の広い本校には寄宿舎もあり、年齢の異なる集団で充実した寄宿舎生活を送っている児童生徒もいます。

本校の特色としては、地域との関係・連携を重視した教育活動の展開があります。地域を学習の場とした地域型作業学習の実施や地元である久米南町の協力で設置運営をしているアンテナショップ『夢元(ゆげ)』の展開、授業、余暇活動、登下校の見守り支援等の地域ボランティアの活用等、地域と深くつながりながら教育活動を進めています。

平成30年度は、誕生寺校地では知的障害部門小学部46名、中学部33名、肢体不自由部門小学部11名、中学部10名、高等部6名で、弓削校地では知的障害部門高等部142名の総勢248名でスタートしています。

本年度も、保護者の方々や地域の方々、関係機関の方々に信頼され、「つながり」を大切にしながら、「子どもたちが笑顔で、生き生きとした生活にあふれる学校」を目指していきたいと考えています。

今後とも、本校の教育活動に対しましてご協力、ご支援を賜りますようお願いいたします。